

科目名		ディスプレイ実習 II			
担当教員		大沼久子		実務授業の有無	有
対象学科	インテリアデザイン科	対象学年	2 年次	開講時期	前期
必修・選択	選択	授業形式	実習	時間数	96
授業概要、目的、授業の進め方	空間構成・演出を学ぶ。店舗等に季節感を表現し、Displayを通して売り上げに繋げていく実習を行う。				
学習目標 (到達目標)	1年次に学んだ学内演出を、更にスペースを広げて表現する。ヤマシタ様での演出実習で、社会に通用する売り場演出を学ぶ。1年次で実習出来なかったPOPや基本の習得も行う。Display、ラッピング、POPとバランス良く技術を磨き、就業時の即戦力を目指す。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	商品装飾展示テキスト、ストアオペレーションテキスト、おまかせしないラッピングテキスト、POP広告制作マニュアル、オリジナル他				
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	生活催事の演出 (母の日、父の日、Summer,Autumu)			方法・・・スペース確認、企画書作成、演出物の作成、演出、撮影、フィードバック	
2	部屋のコーナーインテリア (テーマカラーの出し方、棚構成、家具・雑貨の見せ方)			方法・・・着色表現、コラージュ、学内演出実技	
3	パース表現			方法・・・テキスト抜粋実技、トレース、模写	
4	ヤマシタ校外学習 (店内見学→スペース確認→家具セレクト→雑貨セレクト→企画書作成→演出→撮影→フィードバック)			方法・・・メイン・サブ商品の理解・生活提案の表現・企画書の書き方見せ方・パース表現・演出力	
5					
6					
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
平常点	課題	取り組み姿勢		VMDの基礎～応用力をしっかりと身に付けて空間構成・演出を学ぶ。演出を繰り返しポイントを押さえて理解する。フィードバックを行い次回に繋げて習熟度を上げる。個別指導を含めて十分な解説を行う。校外実習では、マナー、スケジュール管理にも留意する。1年次よりも更にプロに近づくクオリティーの高い演出を目指し、楽しく意欲的に実力を付けて行く。	
30 %	50 %	20 %	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		30年			